

**平成30年度 食料生命環境学科 森林科学コース 卒業論文発表会
ポスター・アピール（口頭発表）プログラム**

日 時：平成31（2019）年2月21日（木） 8：50～

会 場：301講義室

発表時間：3分

発表順	時 間	ポスター番号	氏 名	教育分野(研究室)	発 表 題 目
	8：50～	開 会			
1	9：00～	森林 P-01	河津 祥太郎	森林保全(林田)	集団枯損が発生した蔵王連峰オオシラビソ林の今後の更新の可能性
2	9：03～	森林 P-02	濱崎 麻梨	森林保全(江成)	朝日山系北西部における中型食肉目の個体数の変動
3	9：06～	森林 P-03	鈴木 総介	森林保全(江成)	積雪地域における侵入初期イノシシの生息地選択
4	9：09～	森林 P-04	高田 真大朗	森林保全(江成)	中・大型哺乳類による農業被害の深刻化に人口減少が及ぼす影響 ～山形県の事例～
5	9：12～	森林 P-05	丹野 晴喜	林政(小川)	林業における労働災害の動向と予防対策の現状 —山形県の森林組合の事例—
6	9：15～	森林 P-06	本田 直樹	林政(小川)	農林高等学校再編下における林業教育の現状と課題 —東北地方の農林高等学校の実態—
7	9：18～	森林 P-07	今吉 祐貴	林政(林)	山村集落における山菜生産の役割 —山形県鶴岡市大網・大鳥・関川集落の事例—
8	9：21～	森林 P-08	上田 莉玖	林政(林)	森林組合の職階間関係と業績 —山形県の森林組合の事例—
9	9：24～	森林 P-09	国井 俊希	林政(林)	林野コモンズにおける共有資源の利用形態とその要因
10	9：27～	森林 P-10	齋藤 聖馬	森林利用(高橋)	コウヨウザン(<i>Cunninghamia lanceolata</i>)心材成分の特徴について —日本産針葉樹と比較して—
11	9：30～	森林 P-11	細田 周吾	森林利用(高橋)	コウヨウザン(<i>Cunninghamia lanceolata</i>)の葉および樹皮における生物活性
12	9：33～	森林 P-12	佐々木 海帆	森林利用(芦谷)	モウソウテク未利用資源を用いたエノキタケ栽培
13	9：36～	森林 P-13	浅川 周徒	森林生態(森)	モウソウテク林の5年間の林分構造変化 —地上部の大型化と高密度化—
14	9：39～	森林 P-14	吉田 健登	森林生態(森)	器官別のエネルギー利用からひも解くオニグルミのレジリエンス
9:42～10:00		休憩（時間調整）			
15	10：00～	森林 P-15	大津 将太	流域保全(口入)	年輪解析と同位体比分析を用いた、地形環境の違いによる 長期間の樹木乾燥ストレス評価
16	10：03～	森林 P-16	間野 由里恵	流域保全(口入)	山形大学上名川演習林におけるスギ人工林とブナ林の水理特性
17	10：06～	森林 P-17	菊地 拓朗	里山創生論(斎藤)	目撃情報から人とクマが出会う場所を評価する：山形県鶴岡市の事例
18	10：09～	森林 P-18	栗田 享佐	里山創生論(斎藤)	山形県庄内地方におけるヒメボタルの生息環境
19	10：12～	森林 P-19	磯山 春佳	森林影響(柳原)	庄内海岸林から採集した松葉による製炭とその松葉炭が植物生育に与える影響
20	10：15～	森林 P-20	佐々木 健太郎	森林影響(柳原)	春季の環状剥皮がニセアカシアの種子生産に与える影響と環状剥皮処理後の萌芽発生
21	10：18～	森林 P-21	班目 悠希	森林影響(柳原)	庄内海岸砂草地におけるハマニンニクとアメリカンビーチグラスの分布と時間変化
22	10：21～	森林 P-22	伊藤 豪太	森林影響(菊池)	登山におけるストック使用が登山道表面侵食に与える影響
23	10：24～	森林 P-23	遠田 真央	森林影響(菊池)	鶴岡市温海地域における焼畑の変遷と農林業構造の変化
24	10：27～	森林 P-24	今 さやか	森林影響(菊池)	庄内地域住民の里山保全活動への参加促進と地域活性化
25	10：30～	森林 P-25	小笠原 柊汰	森づくり論(吉村)	継続的な転圧が芝生の生理・形態に及ぼす影響 —転圧強度・植栽密度に注目して—
26	10：33～	森林 P-26	今田 敦士	森づくり論(吉村)	乾燥ストレス下のアベマキが生き残るための炭素分配シフト
27	10：36～	森林 P-27	近藤 裕貴	森づくり論(吉村)	気候に応じた種組成と森林サイズ構造～日本海側から太平洋側にかけて～